

製品名: TSG101 (10N13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19359**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	TSG101
別名	TSG101; ESCRT-I complex subunit TSG101; Tumor susceptibility gene 10; Tumor susceptibility protein; VPS23; TSG10;
遺伝子 ID	7251.0
SwissProt ID	Q99816
免疫原	ヒト TSG101 の合成ペプチド

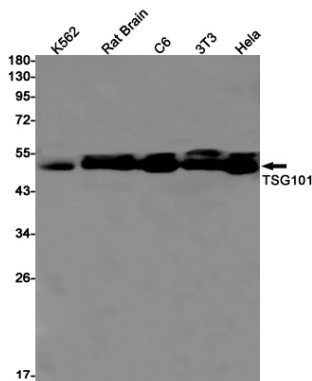
背景

ESCRT-I 複合体の成分で、小胞輸送プロセスの調節因子です。ユビキチン化されたカーゴタンパク質に結合し、エンドサイトーシスでユビキチン化されたカーゴを多小胞体 (MVB) に仕分けるために必要です。ESCRT-0 と ESCRT-I 複合体の結合を仲介します。細胞質分裂の完了に必要であり、この機能には CEP55 が必要です。ESCRT-I 複合体の成分で、小胞輸送プロセスの調節因子です。ユビキチン化されたカーゴタンパク質に結合し、エンドサイトーシスでユビキチン化されたカーゴを多小胞体 (MVB) に仕分けるために必要です。ESCRT-0 と ESCRT-I 複合体の結合を仲介します。細胞質分裂の完了に必要であり、この機能には CEP55 が必要です。細胞の成長と分化に関与している可能性があります。負の成長調節因子として機能します。多くのウイルスの出芽に関与し、後期出芽モチーフ P-[ST]-A-P を含むウイルスタンパク質との相互作用を介して関与する。この相互作用は、多くのレトロウイルスのウイルス粒子の出芽に必須である。SDCBP、CD63、シンデカンのエクソソーム放出に必須である (PubMed:22660413) 。また、エクソソームとは異なる微小小胞の細胞外放出にも関与している可能性がある (PubMed:22315426) 。

研究分野

細胞生物学

画像データ



TSG101 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 細胞溶解物中の TSG101 のウエスタンブロット検出。